

第4次熊本市歯科保健基本計画（第3次健康くまもと21第7章） 令和6年度の取組状況及び令和7年度取組予定について

計画の方針に基づいて施策を推進

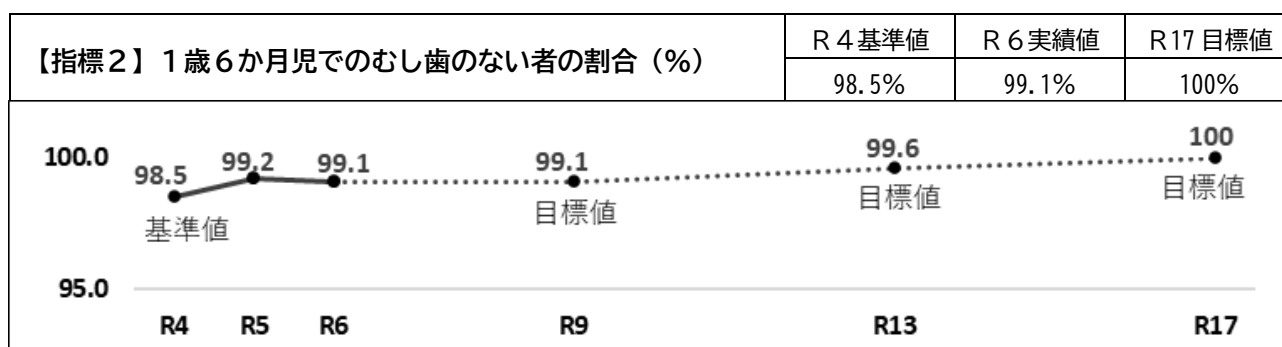
- I ライフステージの特性に応じた歯科口腔保健の推進
（歯科疾患の予防、口腔機能の獲得・維持・向上）
- II 定期的に歯科検（健）診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健の推進
- III 誰もが等しく歯と口腔の健康づくりができる社会の環境整備

I ライフステージの特性に応じた歯科口腔保健の推進 （歯科疾患の予防、口腔機能の獲得・維持・向上）

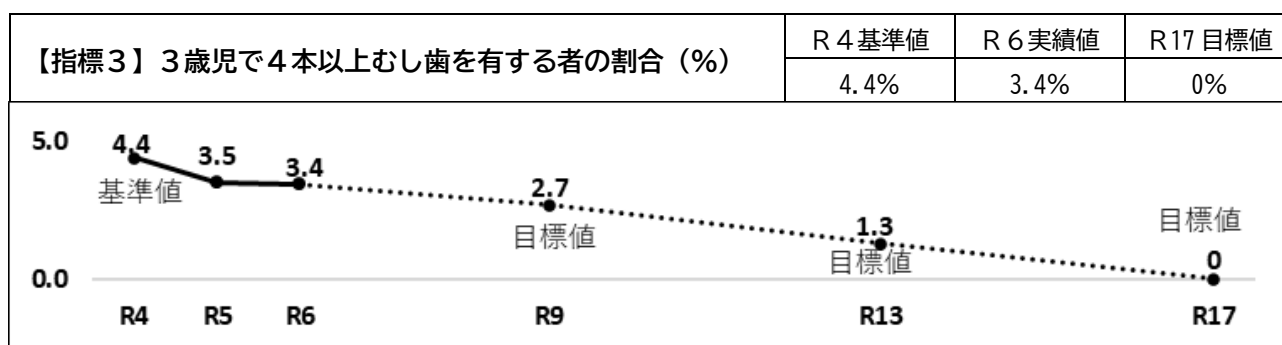
（1）歯科疾患の予防（①むし歯）

現状と課題

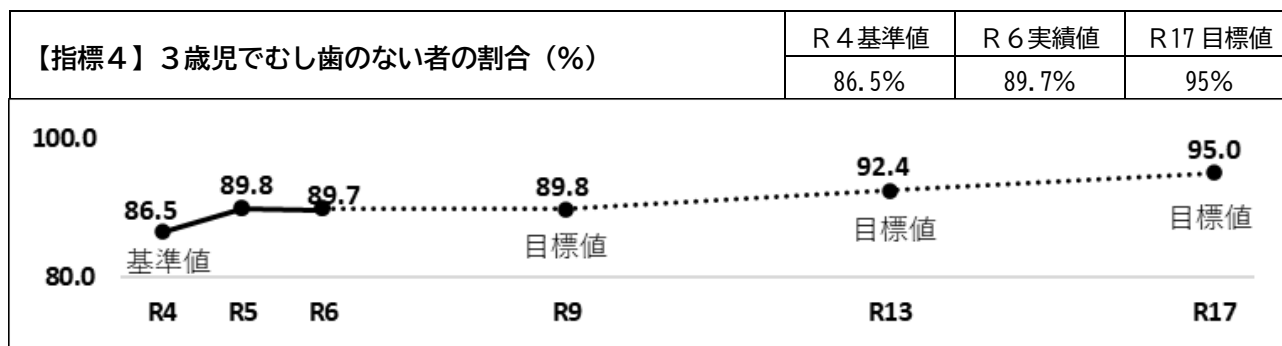
- （ア）1歳6か月児及び3歳児のむし歯のない者の割合は令和5年度から令和6年度にかけて横ばいであるが（指標2、4）、令和5年度は政令指定都市ワーストを脱却した。▶第1期アクションプラン
- （イ）3歳児で4本以上むし歯がある者は令和4年度から減少傾向にあるが（指標3）、該当する206人のうち10本以上むし歯がある者は33人であった。健康格差縮小のため早いうちからの啓発が必要である。
- （ウ）12歳児の4人に1人はむし歯がある（指標7）。▶第1期アクションプラン
- （エ）20歳以上で未処置歯を有する者が令和6年度は約4割となり、令和5年度よりも悪化した（指標10）。成人期以降もむし歯予防対策が必要である。



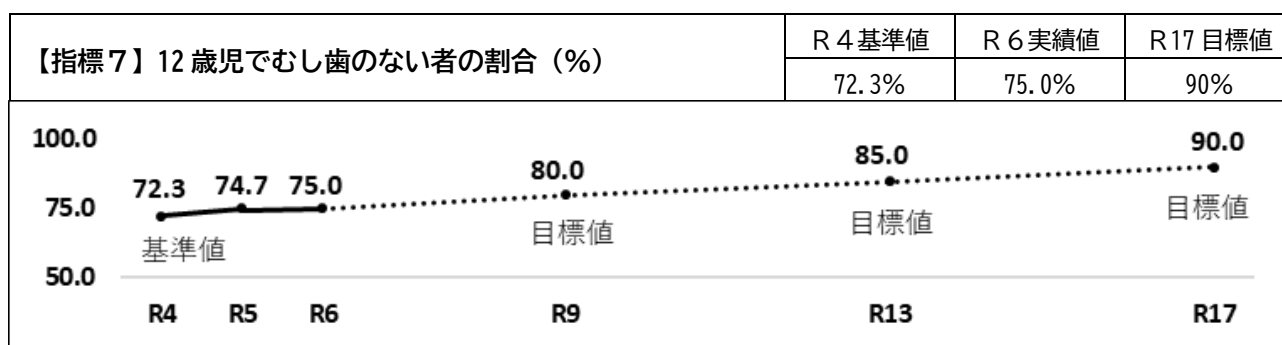
出典：1歳6か月児歯科健診結果



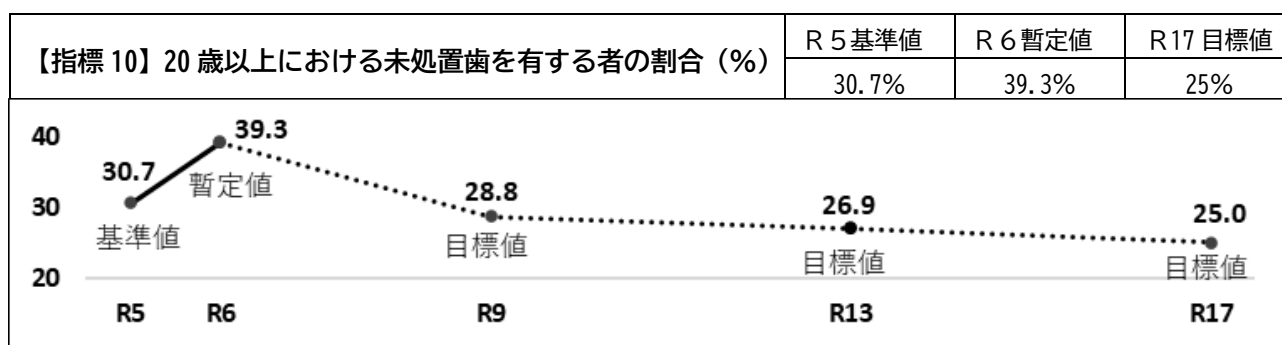
出典：3歳児歯科健診結果



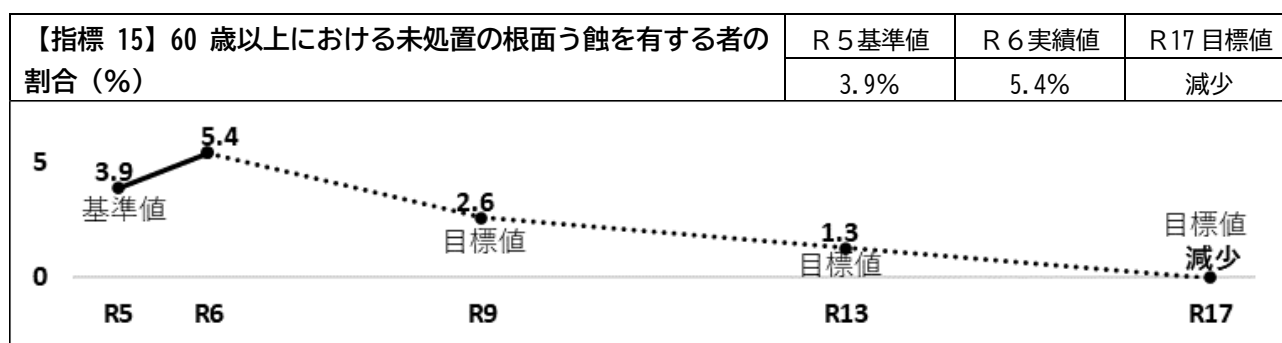
出典：3 歳児歯科健診結果



出典：熊本県状況調査



出典：R5：R4 歯周病検診、R4 後期高齢者歯科口腔健診、R5 成人歯科実態調査
R6：R6 節目年齢歯科健診、R6 後期高齢者歯科口腔健診（暫定データ）

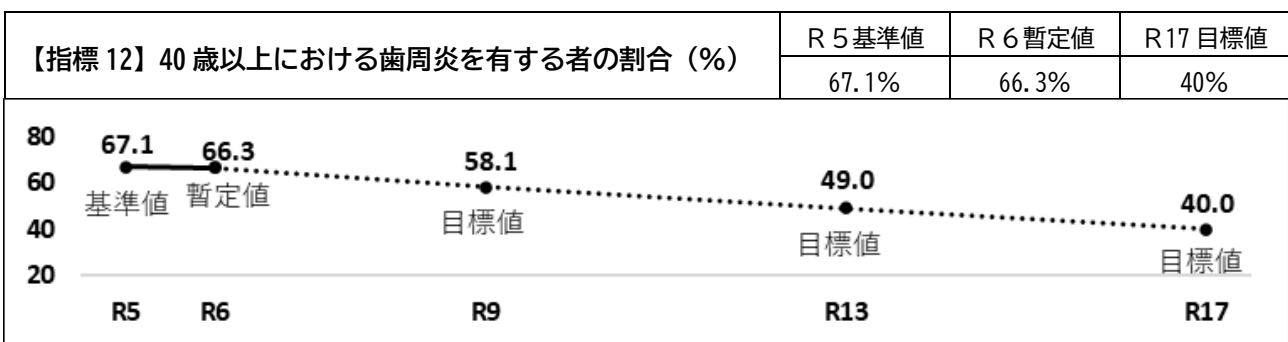
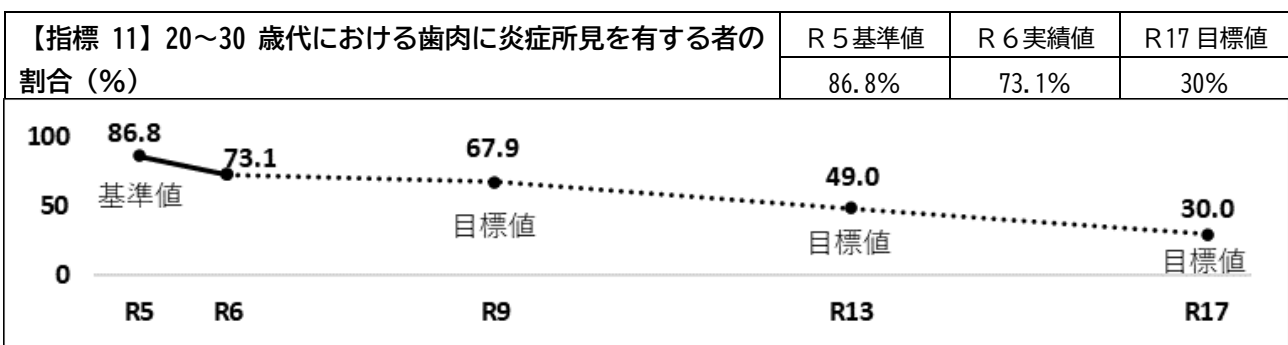
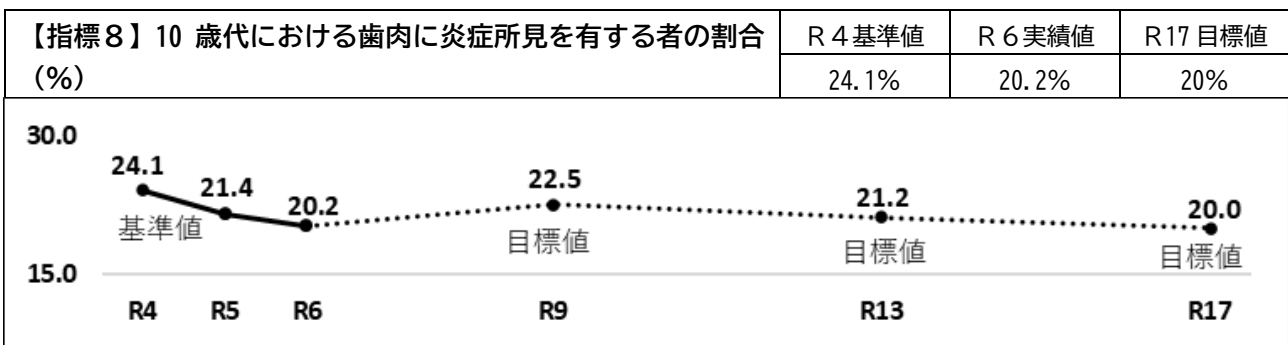


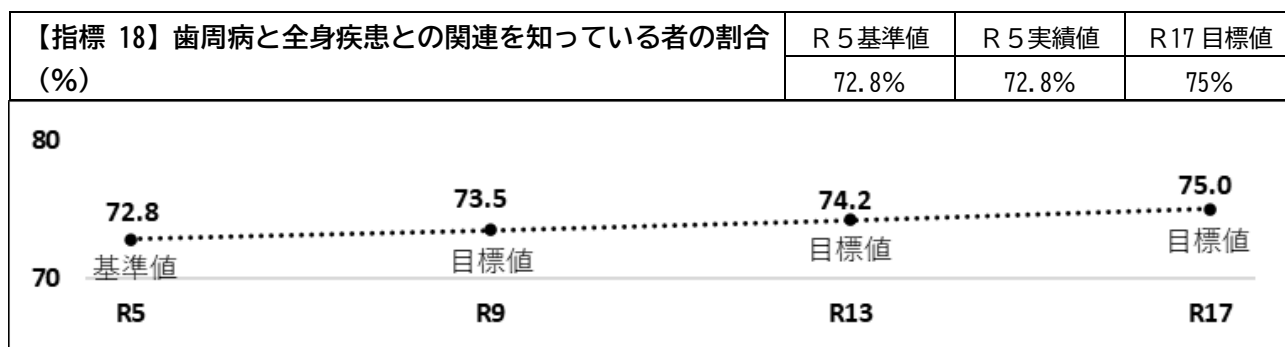
出典：R5 成人歯科実態調査、R6 節目年齢歯科健診

(1) 歯科疾患の予防 (②歯周病)

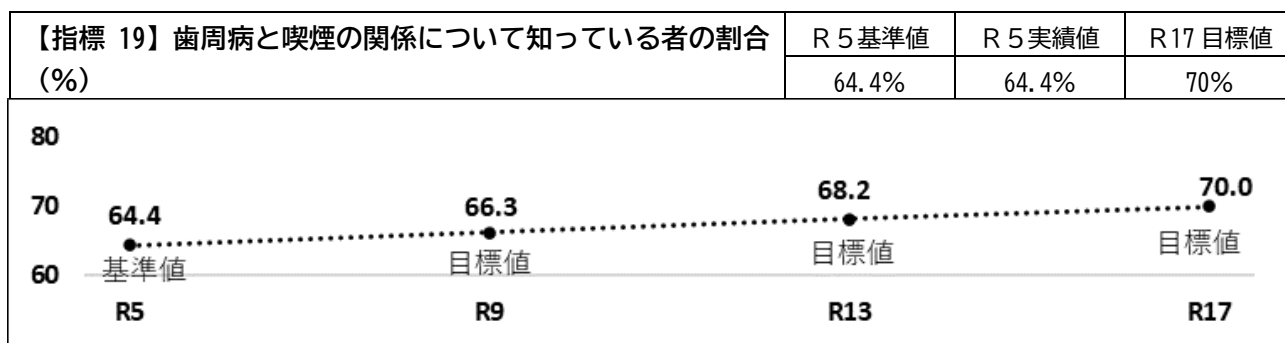
現状と課題

- (ア) 10 歳代で歯肉に炎症所見を有する者は改善傾向である (指標 8)。
 (イ) 20～30 歳代で歯肉に炎症所見を有する者は令和 6 年度は約 7 割となり、令和 5 年度から改善した (指標 11)。しかし依然として高いため、早いうちからの歯周病予防について今後も啓発を行う必要がある。▶第 1 期アクションプラン
 (ウ) 40 歳以上の歯周炎を有する者も多く (指標 12)、40 歳以降は歯周病の発症だけでなく重症化させないことも重要である。
 (エ) 8020 達成率は 6 割を超えている (指標 21)。

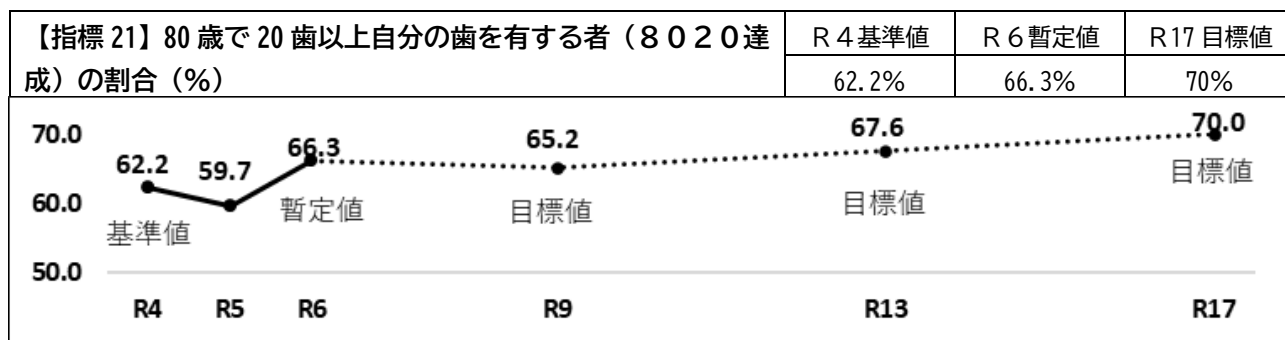




出典：健康づくりに関する市民アンケート



出典：健康づくりに関する市民アンケート

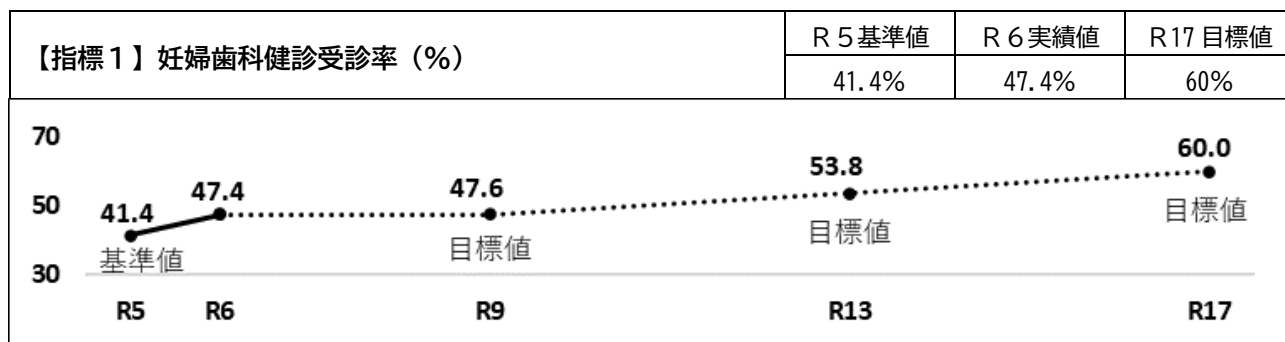


出典：後期高齢者歯科口腔健診（R6 暫定データ）

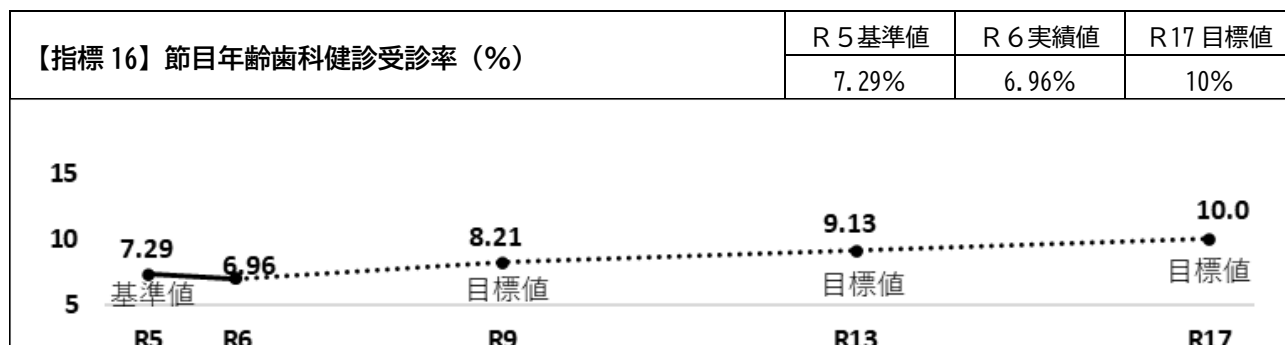
（１）歯科疾患の予防（③歯科検（健）診）

現状と課題

- （ア）令和５年度から令和６年度にかけて妊婦歯科健診の受診率（指標１）は上がったものの、直営の歯科健診を実施していたとき（受診率：約６０％）に比べると低い。▶第１期アクションプラン
- （イ）節目年齢歯科健診は令和５年度の受診率（指標１６）に比べ主に４０～６０代の受診率が低下した。
- （ウ）後期高齢者歯科口腔健診の受診率（指標２０）は緩やかに増加傾向にあるが、依然として受診率は低い。▶第１期アクションプラン
- （エ）過去１年間の歯科検（健）診受診者の割合が令和６年度は低下した（指標１７）。今後も歯科検（健）診の重要性について啓発を行う。

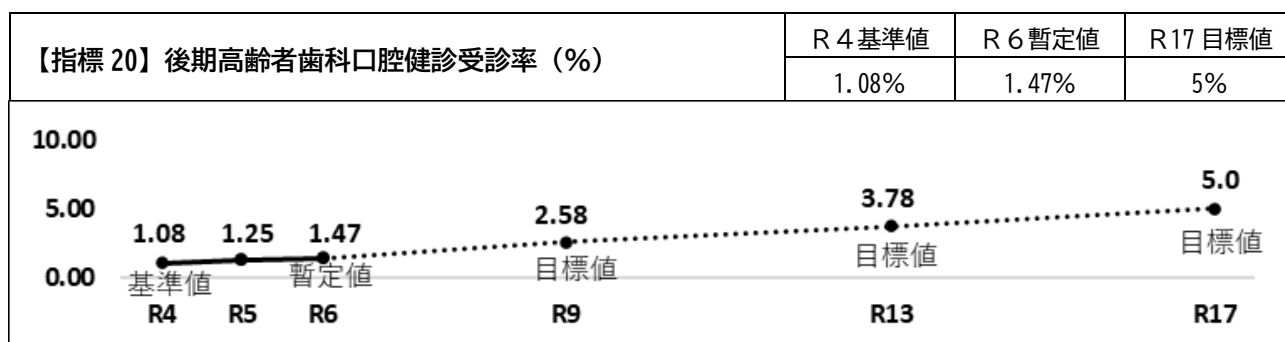


出典：妊婦歯科健康診査

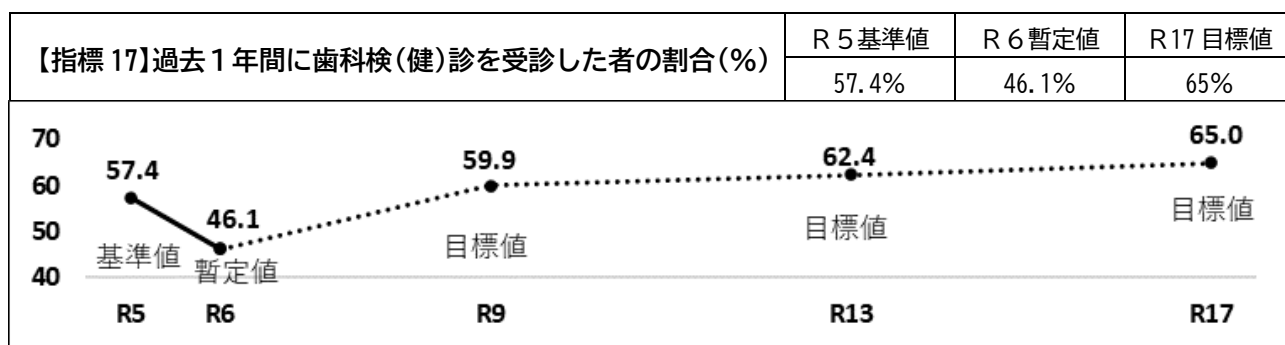


出典：節目年齢歯科健診

※R5 は 40、50、60、70 歳、R6 から 20、30 歳を追加



出典：後期高齢者歯科口腔健診（R6 暫定データ）

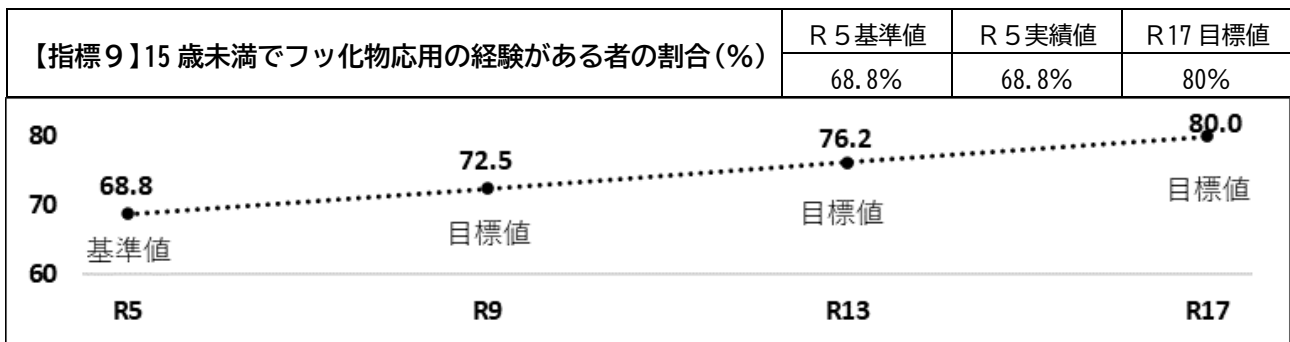
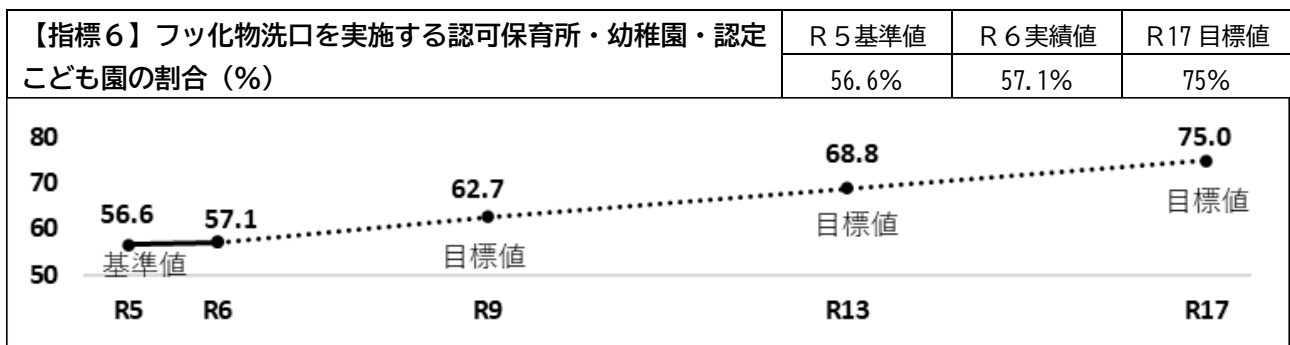
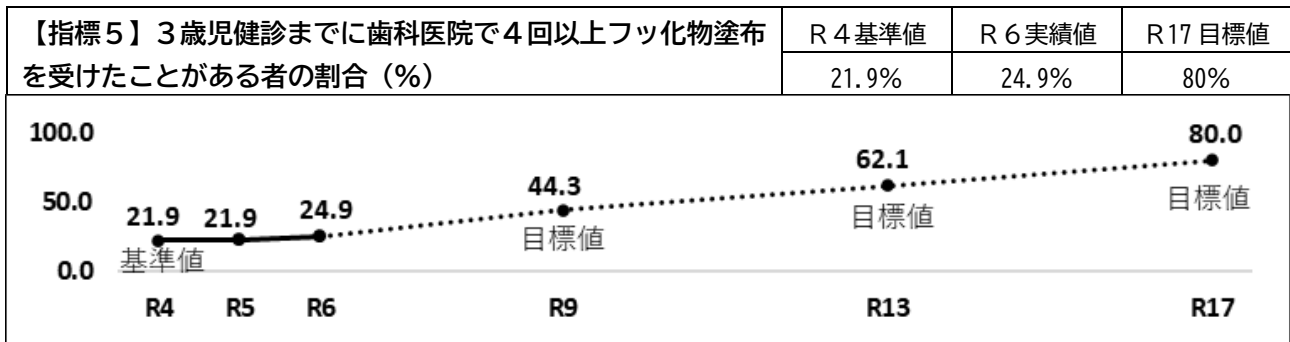


出典：R5：R4 歯周病検診、R4 後期高齢者歯科口腔健診、R5 成人歯科実態調査、R5 健康づくりに関する市民アンケート
R6：R6 節目年齢歯科健診、R6 後期高齢者歯科口腔健診（暫定データ）

（１）歯科疾患の予防（④フッ化物の応用）

現状と課題

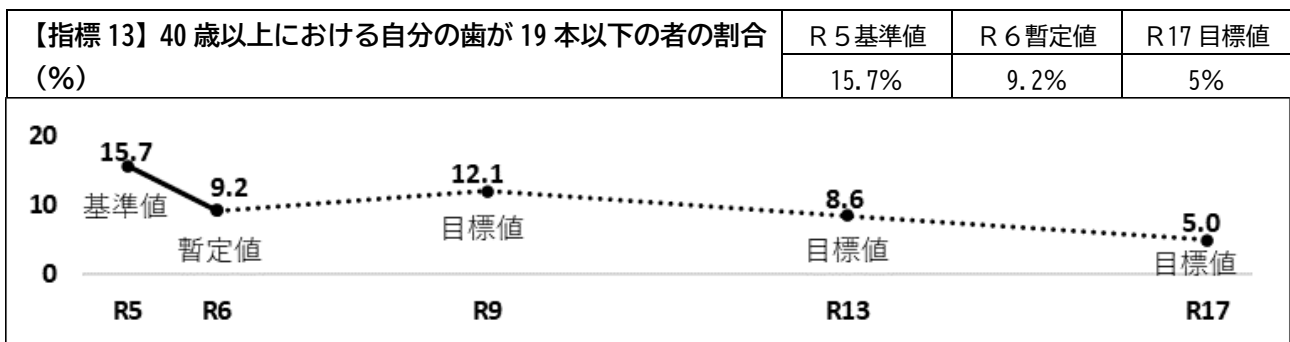
- （ア）３歳児健診までに歯科医院で４回以上フッ化物塗布を受けたことがある者は令和６年度 24.9%である（指標５）。
- （イ）フッ化物洗口に取り組む施設（保育所等）が約半数にとどまっている（指標６）。▶第１期アクションプラン
- （ウ）小学校におけるフッ化物洗口は現在１～２年生のみ実施しており、３年生以上が未実施である（一部実施）。▶第１期アクションプラン



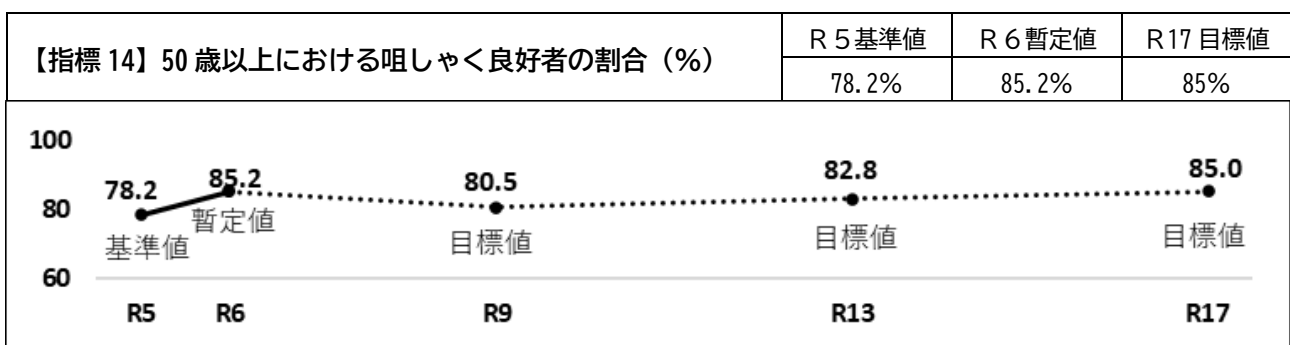
(2) 口腔機能の獲得、維持、向上 (①不良習癖と不正咬合、②咀嚼、③オーラルフレイル)

現状と課題

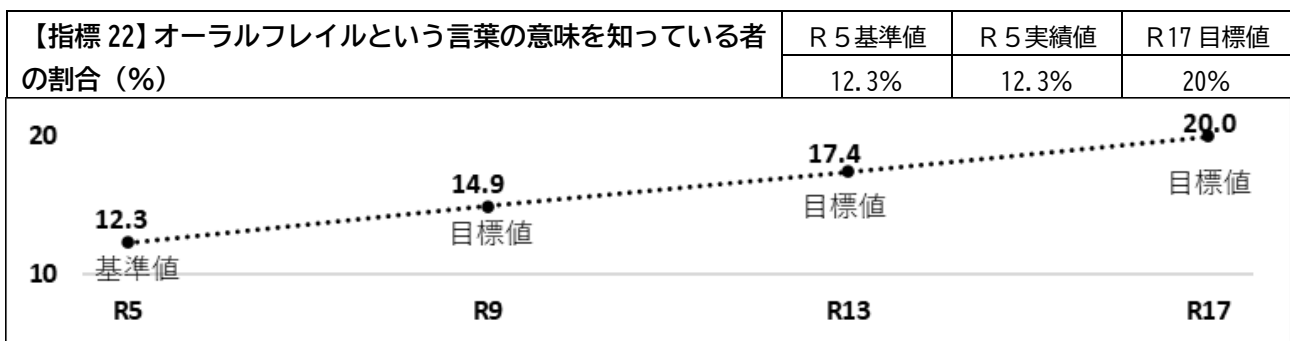
- (ア) 40 歳以上で自分の歯が 19 本以上の者は令和 6 年度は 9.2%となり、令和 5 年度より改善した (指標 13)。しかし、年齢が上がるにつれて歯の本数が減ってくるため若い世代から歯の喪失防止について今後も啓発を行う必要がある。
- (イ) 令和 6 年度の 50 歳以上の咀嚼良好者は R17 目標を達成している (指標 14) もの、今後も啓発を継続し更なる改善を目指す。
- (ウ) オーラルフレイルという言葉の意味を知っている者が 12.3%と低い (指標 22)。令和 22 年 (2040 年) には本市の高齢化率も約 33%の見込みとなっているためオーラルフレイル予防の重要性が大きくなる。



出典：R5：R4 歯周病検診、R4 後期高齢者歯科口腔健診、R5 成人歯科実態調査、R5 健康づくりに関する市民アンケート
R6：R6 節目年齢歯科健診、R6 後期高齢者歯科口腔健診 (暫定データ)



出典：R5：R4 歯周病検診、R4 後期高齢者歯科口腔健診、R5 成人歯科実態調査、R5 健康づくりに関する市民アンケート
R6：R6 節目年齢歯科健診、R6 後期高齢者歯科口腔健診 (暫定データ)



出典：健康づくりに関する市民アンケート

令和6年度の取組状況

歯科疾患の予防（むし歯、歯周病、歯科健診、フッ化物の応用）及び口腔機能の獲得・維持・向上（不良習癖、不正咬合、咀嚼、オーラルフレイル）に関する課題について、令和6年度に行政と関係機関・団体が取り組んだ内容は以下のとおりである。

【行政】

●妊娠期及び胎児期

令和6年度取組状況			実績	課名
1	結婚・子育て応援サイト	歯と口腔の健康づくりに関する情報提供を実施 ※妊娠期だけでなく乳幼児期・学齢期も該当	—	こども政策課
2	妊産婦健康相談	・母子健康手帳交付時に、歯科健康相談を実施 （妊娠届出時または妊婦転入時に妊婦本人と面談し、歯周病による早産・低体重児出産のリスクが高まることを伝えながら、妊娠期の歯科健診の受診勧奨を実施） 527回 1,961人 ・電話相談、面接相談など母子手帳交付時以外において歯科健康相談を実施 6回、16人	実施回数 533 回 相談者数 1,977 人	各区保健こども課
3	妊婦歯科健診・相談事業（委託）	・母子健康手帳交付時に妊婦に対して、受診券を発行し、歯科医療機関で歯科健診・歯科健康相談を実施 ・県下全域の産婦人科医療機関等から啓発リーフレットを妊婦に渡し、歯科受診の勧めを実施 ・健康ポイント事業において、妊婦歯科健診もポイント付与の対象に追加 ・子育てアプリにおいて歯科受診の必要性について広報	受診者数 2,539 人 （受診率 47.4%）	健康づくり推進課

●乳幼児期

令和6年度取組状況			実績	課名
1	1歳6か月児歯科健診・フッ化物塗布	・1歳6か月児健康診査において歯科健診・歯科健康相談を実施 ・希望者にはフッ化物塗布を実施	【歯科健診】 実施回数 229 回 対象者数 5,523 人 受診者数 5,428 人 【フッ化物塗布】 実施者数 4,727 人 （塗布率 85.6%）	各区保健こども課 こども支援課 健康づくり推進課
2	1歳6か月児歯科健診事後フォロー	1歳6か月児健診時に初期むし歯があった児（保護者）に対し、受診3か月～6か月後に電話等によるフォローを実施	実人数 28 人	各区保健こども課
3	3歳児歯科健診・フッ化物塗布	・3歳児健康診査において歯科健診・歯科健康相談を実施 ・希望者にはフッ化物塗布を実施	【歯科健診】 実施回数 207 回 対象者数 6,100 人 受診者数 6,001 人 【フッ化物塗布】 実施者数 4,439 人 （塗布率 72.8%）	各区保健こども課 こども支援課 健康づくり推進課
4	こどものフッ化物塗布事業（委託）	8か月児に歯の健康手帳（フッ化物塗布券付き）を発行し、1歳児・2歳児・2歳6か月児に歯科医療機関でフッ化物塗布を実施 ・子育てアプリにおいてフッ化物塗布の必要性について広報 ・令和6年度から熊本県歯科医師会も契約相手となり、市民が受診しやすい環境を整えた	フッ化物塗布 実施者数 3,932 人	健康づくり推進課

5	歯科健康教育	子育てサークル等においてむし歯予防講話等を実施	実施回数 103 回 参加組数 910 組	各区保健こども課
6	歯科健康相談	区役所（育児相談）や子育てサークル等において歯科健康相談を実施	実施回数 265 回 相談者数 1,056 人	
7	フッ化物洗口支援事業	フッ化物洗口の実施を希望する保育所等に対して、洗口剤等を配布するとともに、円滑な実施に係る技術支援を実施	認可 125 施設 （うち新規実施 2 施設） 認可外 9 施設 （うち新規実 0 施設）	各区保健こども課 健康づくり推進課 保育幼稚園課 健康教育課
8	フッ化物洗口支援事業説明会	本市のこどものむし歯有病状況及びフッ化物洗口の予防効果や安全性等について説明を実施	【職員向け】 施設数 11 施設 参加者数 78 人 【保護者向け】 施設数 10 施設 参加者数 216 人	各区保健こども課
9	むし歯予防及びフッ化物洗口の研修会	保育幼稚園課主催の研修会において、むし歯予防及びフッ化物洗口について、施設職員を対象にオンライン研修会を開催し、フッ化物洗口の新規園開拓を図った	実施回数 1 回 参加者数 143 人	健康づくり推進課 保育幼稚園課
10	保育所等における歯科健康教育	保育所等において、幼児、保護者等を対象に、歯科講話、歯磨き指導等を実施	施設数 113 施設 実施回数 126 回 参加者数 4,508 人	各区保健こども課
11	歯みがき教室等の意向調査	管内の保育所等において、歯みがき教室やフッ化物洗口実施の意向を調査し、むし歯予防事業に対する理解促進を図る。未回答の園や歯みがき教室を希望しない園については、改めて電話等で事業を説明	施設数 128 施設	
12	乳幼児ママ・パパ教室	育児サークル等において、歯科医師等を招いて教室を実施	実施回数 1 回 参加組数 11 組	こども支援課
13	保育所等における歯科健康診断	保育所等において、園歯科医師による歯科健診を実施	実施施設数 218 施設	保育幼稚園課 健康教育課
14	出前講座	「食べない時の口から支援～幼児ベロタッチ健康法～」 実施団体：口からの健康づくり歯っぴーかむカム	実施回数 39 回 参加者数 474 人	生涯学習課
15	公民館講座	・【連携】あかちゃんといっしょ！ふれあいサロン（乳歯が生える前からのあかちゃんのおくちケアについて） ・子育てサロン（おはなしたんぽぽさんのお話しと歯の手入れを学ぶ）	実施回数 2 回 参加者数 17 人	

●学齢期

令和6年度取組状況			実績	課名
1	小中学生に対する歯科健康教育	小中学生を対象としたむし歯や歯肉炎の予防等の講話や歯みがき指導を実施 小学校 92 校 114 回 11,694 人 中学校 4 校 4 回 575 人	実施校数 96 校 実施回数 118 回 参加者数 12,269 人	各区保健こども課
2	高校生に対する歯科健康教育	高校生を対象としたむし歯や歯肉炎の予防等の講話や歯みがき指導を実施	実施校数 1 校 実施回数 1 回 参加者数 41 人	
3	小中学校の学校保健委員会に対する歯科健康教育	小中学校の学校保健委員会において、学校や家庭における歯と口腔の健康づくりに関する取組等の助言等を実施 小学校 6 校 中学校 2 校	実施校数 8 校	
4	歯科健康相談	小中学生や保護者に対して歯科健康相談を実施	実施回数 21 回 相談者数 668 人	
5	歯科健診	就学时歯科健診及び学校歯科健診を実施 小学校 92 校 中学校 42 校 高校 2 校 特別支援学校 2 校	実施校数 138 校	健康教育課

6	歯みがき巡回指導	歯科医師・歯科衛生士による正しい歯みがきの定着と歯と口腔の健康づくりを推進するための専門的な指導を実施 主催：熊本市学校保健会・熊本市歯科医師会 協力：熊本市教育委員会・熊本県歯科衛生士会熊本市支部 対象：小学3年生	小学校10校で実施	健康教育課
7	フッ化物洗口事業	むし歯予防のため、小学校で週1回法によるフッ化物洗口を実施（1～2年） フッ化物洗口説明会の開催	実施校数 92 校 ※一部の小学校は3年以上実施 実施校数 教職員対象 11 校 保護者対象 13 校	健康づくり推進課 健康教育課 各区保健こども課
8	小学校におけるフッ化物洗口の学年拡大について	フッ化物洗口の実施学年の拡大に向けて協議実施	協議回数 7 回	健康づくり推進課 健康教育課
9	学校への啓発媒体の提供	熊本市出身のプロサッカー選手を起用したフッ化物洗口の動画と歯と口腔の健康づくりポスターを作成し、市内の小中学校に配付	—	健康づくり推進課
10	歯みがきリーダー養成	小学校保健委員を対象にむし歯予防講話と歯みがき実技を行い、「8020歯みがきリーダー」に任命。リーダーは、給食後の歯みがき実践に向け活動する。 ※学校・8020推進員・保健こども課3者で任命	実施校数 1 校	中央区保健こども課

●成人期

令和6年度取組状況			実績	課名
1	歯たちの健診	生活習慣が不規則になる時期でもある大学生等を対象に、歯科疾患の予防と口腔衛生意識の向上を目指し、学園祭や区役所実習の学生に対して歯科健診や歯科健康相談を実施 ※学園祭は歯科健康相談のみ 【学園祭における啓発】 子宮頸がん検診など若い世代を対象とした健康づくり啓発を併せて実施（事業概要説明3校実施） ※成人期だけでなく妊娠期及び胎児期も該当	【学園祭】 実施者数 95 人 （うち18～29歳35人） 全体啓発数 231 人 【区役所】 実施者数 82 人 （うち18～29歳80人）	各区保健こども課 健康づくり推進課
2	節目年齢歯科健診	歯の喪失をもたらす歯周病を予防し、かかりつけ歯科医における定期的な歯科健診を推進するため、節目年齢歯科健診を実施 受診者数：20歳518人、30歳561人、40歳595人、50歳653人、60歳720人、70歳689人 ・令和6年度から20歳と30歳を対象に追加 ・全員に個別勧奨通知を継続して実施	受診者数 3,736 人 （受診率 6.96%）	健康づくり推進課
3	歯科健康教育	生活習慣病予防教室において、糖尿病等と歯科疾患との関連について歯科健康教育等を実施。また、歯科健康教室において、歯科疾患の予防等についての講話や口腔ケアの啓発等を実施 ・生活習慣病予防教室 4回 65人 ・歯科健康教室 54回 307人	実施回数 58 回 参加者数 372 人	各区保健こども課
4	歯科健康相談	成人期を対象とした歯科健康相談を実施	実施回数 91 回 相談者数 473 人	
5	健康ポイント事業	スマートフォン専用アプリ「もっと健康！げんき！アップくまもと」において、歯科健診時に健康ポイントを付与することにより、定期的な歯科健診を推進 対象：定期歯科健診、妊婦歯科健診、節目年齢歯科健診、後期高齢者歯科口腔健診 内容：40ポイント／回（年3回まで付与）	ポイント獲得者数 延 11,712 人	健康づくり推進課

6	南区まちづくり推進事業	南区内の企業等に出前講座を行い、口腔衛生に対する関心を高めるとともに成人期の歯周病予防対策を推進し、区民の歯や口腔の健康づくりの活性化を図る。	実施回数 3 回 参加者数 100 人	南区保健こども課
---	-------------	---	------------------------	----------

●高齢期

令和 6 年度取組状況			実績	課名
1	8020表彰	満 80 歳以上で自分の歯を 20 本以上有する市民（8020 達成者）を表彰するため事前審査を行い、達成者には表彰状を送付 ※区役所と市歯科医師会会員の歯科医療機関において事前審査を実施	被表彰者数 88 人	健康づくり推進課 各区保健こども課
2	歯科健康教育	地域において高齢者を対象に、口腔機能向上や口腔ケアの必要性に関する歯科健康教育を実施	実施回数 104 回 参加者数 1,339 人	各区保健こども課
3	歯科健康相談	高齢者を対象に、口腔機能向上や口腔ケアについての歯科健康相談を実施	実施回数 58 回 相談者数 669 人	
4	後期高齢者歯科口腔健康診査	後期高齢者の口腔機能の改善を図り、生活習慣病、誤嚥性肺炎等の疾患を予防するため、歯科口腔健康診査を実施 ※受診対象年齢：75 歳以上	受診者数 1,436 人 （受診率 1.47%） ※暫定値	国保年金課
5	フレイル予防の啓発	高齢者の通いの場（サロン）等において、オーラルフレイルを含めたフレイル状態の把握及び予防に関する講話を実施	実施回数 63 回 参加者数延 1,768 人	
6	フレイル予防対策事業	後期高齢者健診結果から、口腔フレイルリスク者を抽出し、通知による口腔の短期集中予防サービス・後期高齢者歯科口腔健診受診案内を実施	通知発送数 566 人	
7	短期集中予防サービス（口腔機能向上プログラム）	口腔機能向上や改善を目的としたプログラムを実施 ※事業対象者：要支援 1 又は要支援 2 の認定を受けている者及び本サービスを利用することにより機能の維持・改善が見込まれる 65 歳以上の者	実施事業所数 4 事業所 利用者数 26 人 実施回数 65 回	高齢福祉課
8	出前講座	「舌を鍛えて健康長寿～ベロタッチ健康法～」 実施団体：口からの健康づくり歯っぴーかむカム	実施回数 19 回 参加者数 345 人	生涯学習課
9	自立支援型地域ケア会議	多職種で個別ケースの支援内容を検討する会議を開催。検討を重ねる中で、自立支援型のケアマネジメントの推進と、必要な資源開発・体制づくりを推進する。 ※助言者として歯科医師、歯科衛生士が参加	開催回数 93 回 検討事例数 182 件	介護保険課
10	歯科医師と介護支援専門員の連携セミナー	歯科医師、歯科衛生士と介護支援専門員、包括職員等を対象に、ケアマネジメントの質の向上と連携推進のための研修会を開催。 （熊本市歯科医師会、熊本県介護支援専門員協会、熊本市居宅介護支援事業者協議会との共催）	参加者数 82 人	

【関係機関・団体】

●妊娠期及び胎児期

令和 6 年度取組状況			実績	団体名
1	妊婦歯科健診	妊婦歯科健診を通して妊娠の口腔内の健康維持に努めるとともに生まれてくる子供の口腔保健についても解説を行った	受診者数 2,488 人	熊本市歯科医師会
2	歯科健診推奨	各保険薬局にて、来局者に定期歯科健診を勧める ※妊娠期だけでなく全ライフステージが該当	—	熊本市薬剤師会

●乳幼児期

令和 6 年度取組状況			実績	団体名
1	フッ化物塗布事業	1 歳児に於いては歯科検診とフッ化物塗布を行った 2 歳、2 歳 6 か月児にはフッ化物塗布を行ない齲蝕予防につとめた	受診者数 3,559 人	熊本市歯科医師会

2	乳幼児健診	・栄養指導を行う際に虫歯予防の視点に立ち、し好品の与え方などの指導を行う ・フッ化物洗口に関する周知活動に協力する ※乳幼児期だけでなく妊娠期及び胎児期も該当	—	熊本県栄養士会
3	子ども文化会館「歯の健康講座」	幼児と保護者を対象に「子どもの健やかな成長のために」の講話と歯磨き指導を実施。 日時 令和6年5月16日(木) 会場 熊本市子ども文化会館	乳幼児と保護者 6組12名	熊本県歯科衛生士会
4	保育園での歯みがき指導	保育園からの依頼で保育園に出向き、園児を対象にむし歯予防の講話、指導を実施。 日時 令和6年6月24日(月) 場所 大和保育園 日時 令和6年6月25日(火) 場所 ひまわり保育園	延べ2回 園児延べ123名	
5	わんぱくまつりにおける啓発	熊本市健康づくり推進課にご協力いただき、歯の健康・生活習慣病相談コーナーを設置、イベント来場者への啓発および相談を実施	参加人数1,274人	熊本市保育園連盟
6	フッ化物洗口紹介・推奨	幼稚園・認定こども園の数園でフッ化物洗口を実施、その方法と成果を設置者・園長会で紹介。フッ化物洗口への取り組みを勧めた	まだ数園の実施に留まる	熊本市私立幼稚園・認定こども園協会
7	子育てサークル支援・こどもの食育推進ネットワーク	市作成のおやつレシピを活用し、おやつの正しいとり方や、生活リズムの重要性について啓発を行った	子どもの健康食生活 1,073回5,500人	熊本市食生活改善推進員協議会
8	むし歯予防	①子育てサークルや保育所などにおいて、むし歯予防に関する歯科啓発を実施 ②子ども文化会館での子育てサポートカーニバルにおいて、保護者と子どもへのむし歯予防に関する歯科啓発を実施 ③市保育園連盟主催わんぱくまつりにおいて、保護者と子どもへのむし歯予防に関する歯科啓発を実施	①35回970人 ②1回93人 ③1回133人	熊本市8020健康づくりの会

●学齢期

令和6年度取組状況			実績	団体名
1	学校健診及び学校保健会	学校健診並びに学校保健会にて口腔保健に関する啓発を行った	—	熊本市歯科医師会
2	ホームページによる情報発信	熊本県栄養士会情報誌りんどう(毎年1回発行)にて特集「歯の一生は、栄養にかかっている。」を市民へ情報発信する。 子どものむし歯の現状、乳幼児期の食事のポイントやレシピをホームページ掲載[再掲] ※学齢期だけでなく成人期・高齢期も該当	—	熊本県栄養士会
3	フッ化物洗口	学校薬剤師が担当校において、フッ化物洗口薬の使用、保管等の指導助言をする	—	熊本市薬剤師会
4	薬物の歯に対する影響	学校薬剤師が担当校において、薬物乱用防止教育を担当し、薬物の歯に対する影響を説明する	—	
5	歯磨き巡回指導	市歯科医師会受託事業「小学校歯磨き巡回指導」で、小学校児童を対象にむし歯予防の講話、指導を実施	延べ10回 児童延べ760名	熊本県歯科衛生士会
6	フッ化物の応用	熊本市内の全小学校92校の1・2年生に対し、フッ化物洗口を実施した	92校	熊本市小学校長会
7	歯科疾患の予防	・学級活動において、むし歯予防や歯周病予防等についての学習を行った。担任と養護教諭が連携して授業を実施し、児童の理解を深めた。また、3年生以上の体育科保健領域において、むし歯予防や歯周病予防を含め、健康や安全に関する内容を学年に応じて学習した ・定期健康診断における歯科検診を確実に実施するとともに、治療が必要な場合はかかりつけ医への受診を勧奨	—	
8	不登校等で歯	学校歯科医と連携し、学校歯科医の医療機関で受診できる	—	

	科健康診断が難しい場合の対応	よう通知した。また、同学年以外の歯科健康診断日を保護者に事前に案内するなどの対応を行った		
9	PTA役員への啓発活動	熊本市が発信する子どもの歯の健康に関するチラシを各区に配布するとともに、フッ素塗布・フッ化物洗口の虫歯予防のための効果・効能を広めた	—	熊本市 PTA 協議会
10	PTA役員から保護者への情報提供	学校の取り組みと連携して、児童・生徒だけでなく保護者も含めて歯の健康に対する意識醸成・向上を図った	—	
11	食生活改善推進員が牽引するヘルスサポーター養成事業（若者世代）	高校生に、健康づくりのための食生活の重要性を伝え、健康づくりの担い手となる若者を育てる	1 回 22 人	熊本市食生活改善推進員協議会
12	いきなり団子プロジェクト	郷土料理の継承のため、小中学校とその保護者を対象に、「熊本のごはん」レシピ集に掲載されているいきなり団子等の郷土料理の調理実習を小中学校と連携して行った	小中学校 20 クラス	
13	歯みがき教室	小学校における歯みがき教室にて、歯科疾患予防の取り組みに関する支援を実施	19 回 1,761 人	熊本市 8020 健康づくりの会
14	歯肉炎予防教室	中学校における歯肉炎予防教室にて、歯科疾患予防の取り組みに関する支援を実施	1 回 255 人	
15	健康教室	高校における健康教室にて、噛むことの重要性や歯科疾患予防の取り組みに関する支援を実施	1 回 41 人	

●成人期

令和 6 年度取組状況			実績	団体名
1	啓発	リーフレットなど会員医療機関への配布協力	—	熊本市医師会
2	節目年齢歯科健診	20 歳、30 歳、40 歳、50 歳、60 歳、70 歳の対象者に歯周疾患検診を実施した。	受診者数 3,608 人	熊本市歯科医師会
3	公開講座	リハ・口腔・栄養のテーマで令和 7 年度公開講座の企画 ※テーマ「事例で学ぶ リハ・栄養・口腔の 一体的取り組み」 ※成人期だけでなく高齢期も該当	研修会（8/23）開催	熊本県栄養士会
4	花畑健診に協力	協会けんぽ加入者 40～70 歳の被扶養者に対し口腔内審査の記録を実施。 日時 令和 7 年 2 月 21 日（金）～23 日（日） 会場 熊本城ホール	延べ 3 回 延べ 90 名	熊本県歯科衛生士会
5	結核・ガン予防キャンペーンに参加	熊本県総合保健センター主催の「結核・ガン予防キャンペーンヘルシーくまもと」に健康を守る婦人の会に参加。 日時 令和 6 年 9 月 21 日（土） 会場 ゆめタウンはません	地域住民	
6	協会けんぽスモールチェンジに協力	県歯科医師会と連携、協会けんぽスモールチェンジ生活支援プログラムで生活習慣病予防を通して全身の健康づくりに効果的な歯科保健指導を実施	延べ 2 回 延べ 47 名	
7	熊本県職員歯科健康診断事業	熊本県職員歯科健康診断事業・事業所歯科健診で、歯科医師による診断結果を、受診者に説明し、定期歯科健診の受診勧奨を行う	延べ 176 名	
8	生活歯援プログラム	協会けんぽの加入企業を対象に、歯周病等の簡易検査や歯科衛生士による説明を行うプログラムを実施した ※成人期だけでなく高齢期も該当	受診者数 123 名 （5 社）	全国健康保険協会熊本支部
9	協会けんぽの集団健診において歯科検診を実施	協会けんぽと熊本市が共同開催する集団健診（令和 7 年 2 月に熊本市内の花畑広場で 3 日間開催）において、オプション検査として歯科検診を実施した ※成人期だけでなく高齢期も該当	受診者数 89 名	
10	副作用について及び歯科受診推奨	各保険薬局にて、骨粗鬆薬や降圧剤等の歯に対する副作用を注意・喚起し、心配される患者様に対して歯科受診を推奨する	—	熊本市薬剤師会

		※成人期だけでなく高齢期も該当		
11	すこやか食生活改善講習会、高齢者サロン等への支援	①生活習慣病予防を中心としたレシピを啓発するすこやか食生活改善講習会の実施 ②高齢者サロン等への低栄養予防やフレイル予防を中心とした食生活の啓発を行った ※成人期だけでなく高齢期も該当	①92回 1,323人 ②—	熊本市食生活改善推進員協議会
12	歯たちの健診	大学の学園祭において、学生への歯と口の健康づくりに関する啓発の実施及びかかりつけ歯科医を持ち定期的な受診を勧め、情報提供を行った ※成人期だけでなく妊娠期及び胎児期も該当	1回 95人	熊本市 8020 健康づくりの会
13	情報の提供	①熊本市役所ロビーでの、歯と口の健康づくりに関する情報提供 ②熊本市健康フェスティバルでの、歯と口の健康づくりに関する啓発及び情報提供 ③笑顔ヘルシキャンペーンでの、歯と口の健康づくりに関する啓発及び情報提供	①1回 ②1回 367人 ③1回 52人	

●高齢期

令和6年度取組状況			実績	団体名
1	後期高齢者歯科口腔健診事業	後期高齢者に対し歯科検診を行い口腔疾患の早期発見に努めるとともにかかりつけ歯科医による健康維持を推進した	—	熊本市歯科医師会
2	短期集中サービス	栄養改善プログラムにおいて訪問栄養指導	4回	熊本県栄養士会
3	地域ケア会議	低栄養予防及び改善・誤嚥性肺炎予防に関する食事栄養アドバイスを実施	60回 116件	
4	自立支援型地域ケア会議	専門職として、歯と口腔の健康維持、改善に対して助言を行う	延べ 35回	熊本県歯科衛生士会
5	熊本市ささえあい型B事業出水南地区ふれあい交流会	テーマ オーラルフレイル予防と災害時の口腔ケアについてお口の健康講座を実施 日時令和7年2月25日（火）	地域住民 21名	
6	ささえりあ幸田健康講座	テーマ オーラルフレイルを知っていますか お口の健康講座を実施 日時令和6年7月17日（火）	地域住民 20名	
7	講話等	・各サロンや地域講話での歯科検診や受診の必要性及び口腔機能の低下が運動器低下や認知症発症に及ぼすプロセス等の講話 ・事業対象者やフレイル状態にある方へ短期予防サービスの推進 ・口腔機能の維持向上が食生活や栄養、運動器向上など生活の質の維持向上に直結し、健康づくりの大切な大項目である事を介護予防、家族介護教室で歯磨き教室を開催した	—	熊本市地域包括支援センター
8	口腔ケア	高齢者サロンや老人会において、唾液腺マッサージや口の機能を高める口腔体操など実施	390回 5,773人	熊本市 8020 健康づくりの会

令和7年度取組予定と方向性

新たな取組は以下のとおりである。令和6年度に引き続き、行政及び関係機関・団体がこどものむし歯有病率の改善や成人の歯周炎有病率の改善のために、歯と口腔の健康づくりの啓発や事業を実施する（こどものフッ化物塗布事業の周知強化、歯科健診受診勧奨の協力、イベントを通じた啓発など）。

また、小学校のフッ化物洗口学年拡大に向け、3年生が1クラスの小規模校において、3学年実施した場合の課題整理を行う。

令和7年度取組予定		課名・団体名
1	1歳6か月児歯科健診事後フォローの廃止 ※フッ化物塗布事業により1歳6か月児以降も歯科医院に行く環境が整ったため	各区保健こども課 健康づくり推進課
2	フッ化物洗口の小学校3年生（3年生が1クラスの小規模校）への学年拡大（5校程度）	健康教育課 健康づくり推進課 各区保健こども課 熊本市小学校長会
3	【ハッシュタグ 中央区健康まちづくり】（新規） 若い世代や子育て世代を中心に地域全体の健康意識を高め、生活習慣病予防を図る。 動画を作成し、中央区役所のInstagramで公開するほか、区のイベントや校区のまつりや学園祭などで広く紹介し、健康まちづくりの啓発を行うとともに、地域活動を行っている8020推進員等の活動を身近に感じてもらい地域ボランティアの担い手発掘につなげる。	中央区保健こども課
4	【西区管内保育園連絡会】 参加する園に対し、フッ化物を活用したむし歯予防の重要性を周知する	西区保健こども課
5	【子どもの咀嚼をよくする取組】 子どもの咀嚼をよくする資料を作成	熊本県栄養士会
6	【PTA 会員への情報提供・啓発活動】 担当課からの情報発信用宣材（チラシ等）があれば引き続き活用させていただき、保護者も子どもと一緒に歯の健康維持について意識が高められるよう、情報提供と啓発活動に取り組む。紙媒体だけでなく、SNSなども駆使した情報発信の手段の拡張を模索する	熊本市 PTA 協議会
7	【不登校等で学校で歯科健康診断が難しい場合の対応】 健康診断のお知らせを確実に言い、事前に健診を受けることが難しい場合の対応について保護者等に周知する 学校歯科医と連携し、学校歯科医の医療機関で受診できるよう通知する。個の状況に配慮し、できる限り歯科健康診断を受けることができるよう取り組む	熊本市小学校長会

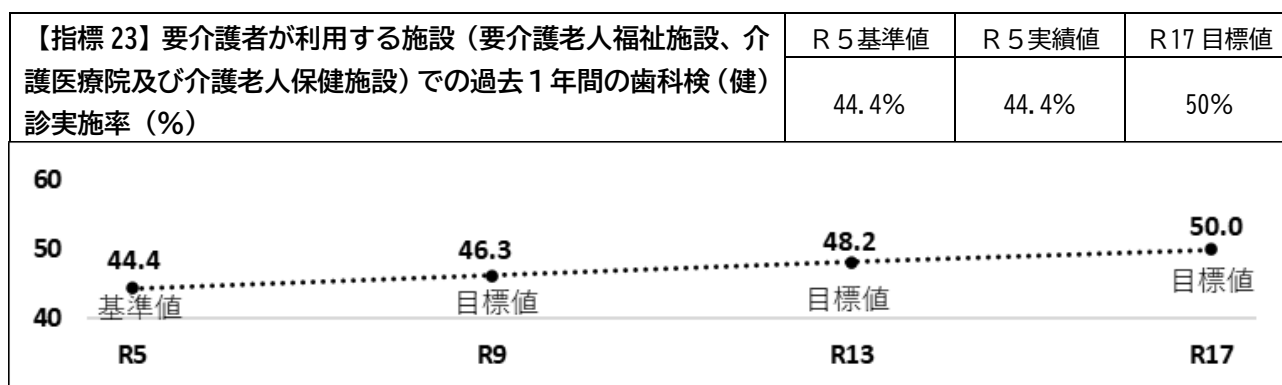
Ⅱ 定期的に歯科検（健）診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健の推進

（１）施設での歯科検（健）診

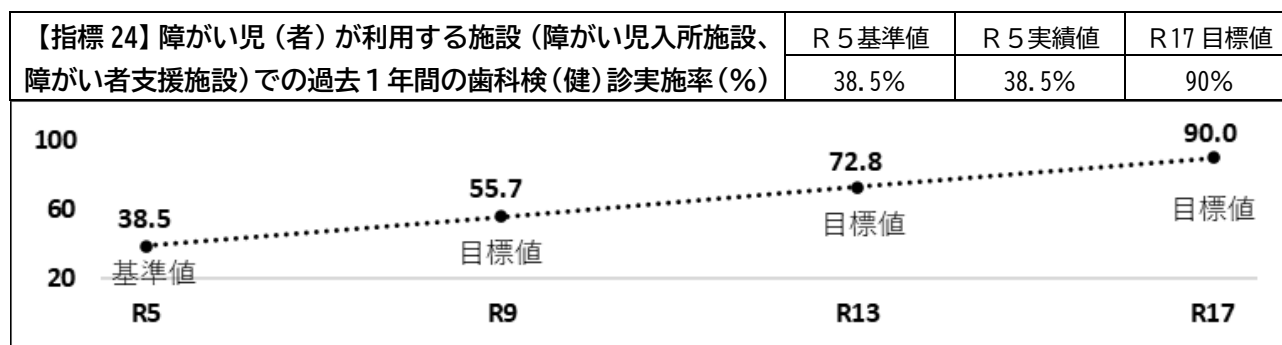
現状と課題

（ア）要介護者が利用する施設での過去１年間の歯科検（健）診実施率が低い（指標 23）。

（イ）障がい児者が利用する施設での過去１年間の歯科検（健）診実施率が低い（指標 24）。障がいのある方は、障がいの種類や特性によって口腔衛生状態が悪くなりやすく、また歯科治療が困難になる場合も多いため歯科疾患の発症予防が重要となる。▶第１期アクションプラン



出典：R5 要介護高齢者施設アンケート



出典：R5 障がい児（者）施設アンケート

令和6年度の実績状況

定期的に歯科検（健）診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健の推進に関する課題について、令和6年度に行政と関係機関・団体が取り組んだ内容は以下のとおりである。

【行政】

令和6年度取組状況			実績	課名
1	適切な医療体制の確立	障がい児（者）の歯科診療体制の強化のため、熊本県歯科医師会口腔保健センターが実施する事業に対する県の補助金の一部を負担	熊本県歯科医師会口腔保健センターにおいて、週3日、障がい児（者）に対する歯科医療を提供した。 ・診療日数：203日 ・診療件数：4,108件	医療対策課
2	障がい児及び発達に不安のある児のむし歯予防事業（歯っぴー事業）	未就学児のうち身体障害者手帳、療育手帳又は歯の健康ノートを保有するものを対象として、口腔ケア、フッ化物塗布及び口腔衛生指導を実施	実施回数 25回 受診者数 延 81人	各区保健こども課
		・パンフレットを活用して歯の健康について説明し、意識向上を促した ・相談時、必要に応じて保護者へ情報提供を行った	4件	こども発達支援センター
3	障がい児（者）口腔ケア事業	歯科医師及び歯科衛生士が、障がい者（児）に対して障がい者支援施設で口腔ケア及び個別相談会を実施	参加者数：100人	障がい福祉課
4	障がい者通所施設での歯科健康教育	障がい者通所施設において、利用者や施設職員に対し口腔のケアの必要性や口腔機能に関する歯科健康教育を実施	実施回数 1回 参加者数 32人	各区保健こども課
5	障がい児者施設における歯科検（健）診の検討	障がい児者施設における歯科検（健）診の拡大についての協議を庁内関係課と実施	1回	健康づくり推進課 障がい福祉課
6	委託歯科健診の実施医療機関の拡大	障がい児者への歯科治療等が可能な熊本県歯科医師会口腔保健センターを節目年齢歯科健診やこどものフッ化物塗布事業などの対象医療機関に追加	—	健康づくり推進課

【関係機関・団体】

令和6年度取組状況			実績	団体名
1	障がい者（児）口腔ケア事業	障がい者支援施設に訪問し、健診を行い治療へとつなげた	延べ2回 延べ100名	熊本市歯科医師会
2	障がい者（児）口腔ケア事業に協力	市歯科医師会受託事業「障がい者（児）口腔ケア事業」で施設入所者に歯科保健指導と口腔ケアを実施 日時 令和7年1月11日（土）場所 城南学園 日時 令和7年2月1日（土）場所 愛育学園	延べ2回 延べ100名	熊本県歯科衛生士会
3	在宅訪問歯科診療	在宅訪問歯科診療の資料を各保険薬局で配布する	—	熊本市薬剤師会
4	訪問看護	訪問看護の際に、口腔内ケア並びに保健指導	—	熊本県看護協会

令和7年度の実績予定と方向性

新たな取組は以下のとおりである。

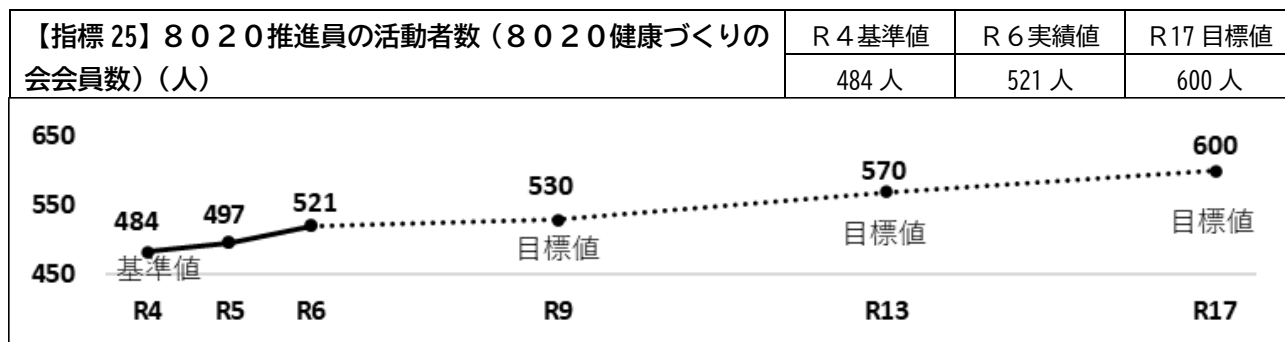
令和7年度取組予定		課名・団体名
1	障がい者の方と高齢者での生活の状況も多く、健康管理や生活の質の向上のための受診指導	熊本市地域包括支援センター

Ⅲ 誰もが等しく歯と口腔の健康づくりができる社会環境の整備

(1) 多様な関係者（保健・医療・福祉・労働衛生・教育・食育等）との協働・協力の強化による総合的な歯と口腔の健康づくりの推進及び歯と口腔の健康づくりに関する知識を有する人材の養成と支援

現状と課題

(ア) 8020健康づくりの会の会員は増加傾向にあるものの（指標 25）、会員がいない校区や少ない校区があるため、会員増加に向けた取組を行う必要がある。▶第1期アクションプラン

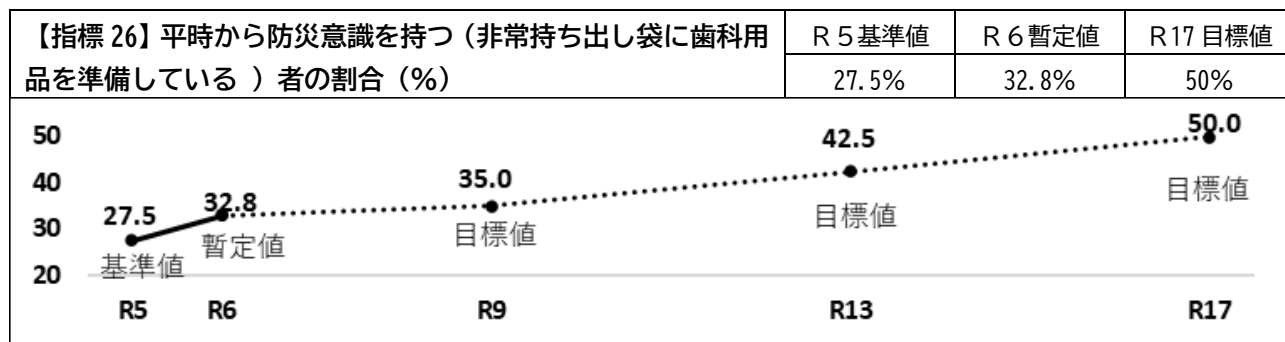


出典：8020健康づくりの会総会資料

(2) 災害における歯科保健対策

現状と課題

(ア) 平時から防災意識を持つ者の割合が令和6年度は増加した（指標 26）。熊本地震を経験したものの時間とともに防災意識が下がってくるため、継続した啓発を行う必要がある。



出典：R5：健康づくりに関する市民アンケート
R6：LINE を活用したアンケート（暫定データ）

令和6年度の取組状況

誰もが等しく歯と口腔の健康づくりができる社会環境の整備に関する課題について、令和6年度に行政と関係機関・団体が取り組んだ内容は以下のとおりである。

【行政】

令和6年度取組状況			実績	課名
1	8020推進員養成事業	8020推進員養成講座を実施し、8020推進員を養成。 ※令和6年度から「8020推進員養成講座」に名称を変更（旧：8020推進員育成講座）	修了者 100 人	各区保健こども課 健康づくり推進課
2	8020推進員活動支援	8020推進員に口腔のケアや歯科疾患予防のアドバイス等を行い、地域での歯と口腔の健康づくり啓発活動を支援	支援回数 2,128 回 活動者数 6,918 人	
3	8020推進員スキルアップ研修会	8020推進員及び8020推進員育成講座受講生を対象に知識及び技能の向上及び推進員同士の連携を図るため、研修会を実施	実施回数 15 回 参加者数 485 人	
4	歯と口の健康週間	毎年6月の「歯と口の健康週間」において、地域住民を対象に歯科保健に関する啓発等を実施	実施回数 98 回 参加者数 4,390 人	
5	歯科救急医療対策	休日歯科当番医制度により、いつでも安心して適切な歯科診療を受けることができる救急医療体制づくりを実施	通常初期救急体制として、休日の準夜間において歯科診療を実施した。 ・診療件数：180 件 年末年始初期救急体制として、24 時間の歯科診療を実施した。 ・診療件数：481 件	医療対策課
6	熊本市民健康フェスティバル	8020健康づくりの会を中心に市民に歯と口腔の健康づくりに関する啓発を実施	参加者数 367 人	健康づくり推進課
7	熊本県歯科保健状況調査	目的：対象施設の歯科保健状況を把握し施策に反映させるため、県の調査に協力 対象：保育所、幼稚園・認定こども園、市立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校、熊本大学附属幼稚園・小中学校	調査数 360 施設	
8	校区単位の健康まちづくりや地域のイベント等での啓発事業	校区単位の健康まちづくりイベントや地域のイベント等において、歯科健康相談等を実施し、歯科保健に関する啓発を実施	実施回数 49 回 参加者数 8,243 人	各区保健こども課
9	災害時の口腔ケアの啓発	災害時の口腔ケアの啓発を、地域のイベントを通して実施	実施回数 49 回 参加者数 4,280 人 ※校区単位の健康まちづくりの再掲含む	各区保健こども課 健康づくり推進課
		市ホームページで広報を行った	—	健康づくり推進課
10	SNS等を活用した啓発	各ライフステージに応じた歯科保健に関する情報の記事掲載 ※SNS や広報誌、ラジオ、テレビなどにおける広報	実施回数 37 回	各区保健こども課 健康づくり推進課
11	地域歯科保健研修会	関係機関・団体と行政が、歯と口腔の健康に関する現状や課題等について共有し、課題解決に向けた取組について理解を深める機会とするため、研修会を開催 ※「障がい児（者）施設における歯科検（健）診の重要性について」というテーマで、障がい児者にかかわる専門職等を対象に実施	参加者数 49 人	健康づくり推進課

12	市民健口講座	市民に歯科疾患の成り立ち及び予防法等の情報を提供し、自己管理能力の向上と総合的な歯と口腔の健康づくりを進めるため、講座を開催 ※「こどものお口の発達」というテーマで実施	参加者数 61 人	健康づくり推進課
13	中央区健康まちづくり	企業や地域団体と一体となり地域の健康意識の向上と健康な生活習慣の浸透を図る。地域団体やボランティア、民間事業者と連携したイベントを開催。 SDGs 第1弾：8月18日開催 126名 第2弾：11月17日開催 133名	実施回数2回 参加者数 259 人	中央区保健こども課
14	全国歯科保健大会	全国から歯科保健関係者が参集し、健康寿命の延伸に歯科口腔保健の充実が重要であることを多方面に向けて発信する大会を、厚生労働省、日本歯科医師会、熊本県歯科医師会、熊本県とともに開催した。 日時 令和6年11月2日(土) 場所 熊本城ホール	—	健康づくり推進課

【関係機関・団体】

令和6年度取組状況				団体名
1	8020推進員の養成	修了時の8020推進員に対して講演を行い養成に寄与した	—	熊本市歯科医師会
2	歯科健診	歯と口の健康週間事業期間での無料歯科健診を実施	28 人	
3	歯の祭典	歯と口の健康週間における催事「2024 歯の祭典」を実施	来場者 588 人	
4	関連活動の後援	8020健康づくりの会の活動について後援を行い、周知活動に協力	—	熊本県栄養士会
5	歯の祭典への参加	市歯科医師会主催 2024 歯の祭典に歯科衛生士コーナーを出展、地域住民を対象に歯科啓発を実施 日時 令和6年6月2日(日) 会場 上通りびぶれす広場	地域住民 210 名	熊本県歯科衛生士会
6	笑顔ヘルCキャンペーンへの参加	笑顔ヘルCキャンペーンに歯科コーナーを出展、地域住民を対象に歯科に関する質問・相談など受け、歯科啓発を実施 日時 令和6年11月9日(日) 会場 上通りびぶれす広場	地域住民 20 名	
7	東区民まつりへの参加	けんぐん食と健康まつりに歯科コーナーを出展、地域住民を対象に歯科に関する質問・相談など受け、歯科啓発を実施 日時 令和6年11月16日(土) 会場 ピアクレス	地域住民 232 名	
8	マスコミによる啓発	「熊本シティ FM 健康サロン」に出演、歯・口腔の健康に関する普及啓発を実施 日時 令和6年6月26日(水)・お口のケアについて 日時 令和7年1月1日(水)・歯ブラシをテーマにセルフケアや健診の重要性について	延べ2回	
9	熊本市民健康フェスティバルへの参加	熊本市民健康フェスティバルにお口の健康コーナー、在宅コーナーを出展、地域住民を対象に歯科に関する質問など受け、歯科啓発を実施 日時 令和6年10月6日(日) 会場 熊本城ホール	地域住民 396 名	
10	いきいき未来のつどいに参加	テーマ「自然災害」いきいき未来のつどいで、健康相談・災害時の命を守る口腔ケア・唾液腺マッサージなどを指導 日時 令和6年10月26日(土) 会場 熊本保健科学大学 3号館	地域住民	

11	市民公開講座の開催	家庭でできる「食育」セミナー「食べることは生きること」～賢く食べて歯を衛ろう～を開催。栄養を摂るには口腔が重要であることを講演してもらう。 日時 令和7年3月23日(日) 会場 熊本県歯科医師会4階ホール	地域住民 68 名	熊本県歯科衛生士会
12	補綴物の相談・知識の向上	一般市民向けに「歯科技工展」を開催する。補綴物の相談や技工士の仕事内容を知っていただく機会にする。	来場者 70 名	熊本市歯科技工士会
13	8020推進員との協働	8020推進員と協働し地域サロンや地域活動での口腔機能向上の必要性をチラシ等配布	—	熊本市地域包括支援センター
14	まちの保健室における健康相談	熊本県内13支部(市内3支部)で健康相談時に、禁煙や口腔の健康について指導	市内 26 回	熊本県看護協会
15	看護職対象の口腔ケアに関する研修	摂食・嚥下障害への支援と口腔ケアについて、看護職対象に研修会開催	5 回 117 人	
16	訪問看護	訪問看護の際に、口腔内ケア並びに保健指導(全世代の対象者に実施)	—	
17	企業向け出張セミナー	協会けんぽの加入で、健康宣言を行っている企業へ健康づくりをテーマとした出張セミナーを実施。講座テーマのひとつに口腔セミナー「お口の健康/口から始める健康づくり・歯周病予防」を設定した	5 社 124 名が口腔セミナーを受講	全国健康保険協会熊本支部
18	食生活改善推進員活動の活性化と新たな養成講座受講生の発掘	会員間の連携を密に行い、食生活改善推進員活動の活性化を図った。また会員増のため養成講座受講生の発掘を精力的に行った。	6 年度 514 名 7 年度 527 名 13 名増	熊本市食生活改善推進員協議会
19	災害に備えた食の備蓄やパッキングの調理実習	災害に備えた食料備蓄についての話や、災害時のパッキングの方法等についての啓発実施	16 回 1,240 人	
20	8020推進員の会員増加	8020推進員が少ない校区やいない校区を中心に、地域住民・PTA・その他の団体に推進員の役割や養成講座の周知を働きかけ、人材発掘を行った	—	熊本市 8020 健康づくりの会
21	推進活動	8020推進員養成講座への支援や、スキルアップ研修会などを開催し、地域における 8020 運動の推進を図った	—	

令和7年度取組予定と方向性

新たな取組は以下のとおりである。令和6年度に引き続き、8020推進員養成講座の周知を強化する。

令和7年度取組予定			課名・団体名
1	【8020推進員養成講座】 受講者増加を図るため、管内の18校区の全世帯に8020推進員養成講座チラシの回覧をしていただくよう依頼する		東区保健こども課
2	【災害時の歯科保健対策】 西区管内の防災連絡会や避難所担当連絡会時に、非常持ち出し袋に歯科用品を準備することや口腔衛生管理の重要性について周知する		西区保健こども課
3	【学齢期における取組】 校区のまちづくり委員会などと協力して8020運動の推進に取り組むとともに、広報誌だけでなくデジタルツールも生かして情報がくまなく届くよう発信方法を工夫する		熊本市 PTA 協議会